

地区まちづくり会議での主な意見

ブロック	地区	意見内容
北西①	原 ・ 浮島 ・ 愛鷹	松陰寺をはじめとした寺社や興国寺城跡などすばらしいものがあるが、点在しているだけなので、ネットワーク化したい。
		浮島の自然を保全して、子供たちが遊べるような活用をするべき。
		沼川・高橋川の治水対策を第一にやってほしい。
		ゴミの不法投棄や浮島の埋立問題を解決するべき。
北西②	今沢 ・ 片浜 ・ 第二 ・ 千本	千本松原のウォーキングコースなどを歴史・文化が楽しめるよう活用すべき。
		蛇松緑道の活用など片浜駅～千本松原～沼津港～沼津駅までの回遊性を高める。
		ここでしか買えないような独自のブランドが必要。
		沼川・新中川の治水対策が必要。
北東	金岡 ・ 大岡 ・ 門池	広域運動公園や少年自然の家などをもっと活用して自然体験やスポーツが楽しめるようするべき。
		IC周辺に駐車場や情報発信できる施設を整備して通過交通を引き止めると同時に、広域運動公園などのある愛鷹山麓とのアクセス性を向上させればにぎわいが生まれる。
		門池や黄瀬川などをもっと活用したい。
		幹線道路はできるが、生活道路や下水道などの基盤整備が遅れている。
中央①	第一 ・ 第五	連続した電線の地中化やまちの景観づくりなど、沼津の中心地としての「かおづくり」が必要。
		沼津駅北側の学校集積はこの地区の強みであるので、文教地区と感じられるような道路整備などが必要。
		容積率を上げて商業地域としての土地の高度利用を図ることや、土地利用の規制などを行う。
		沼津の人が知らないような資源が多くあるので、顕在化とネットワーク化を図っていく。
中央②	第三 ・ 第四	香貫山は素晴らしいのでより活用すべきであるが、反面災害対策も重要である。
		狩野川などの自然や御用邸記念公園などの施設の活用と連携を考える。
		自然に囲まれていてとても良い地域であるが、生活道路(南北道路)や下水道など基礎インフラの整備が遅れている。幹線道路の渋滞や生活道路への観光客の流入などの問題がある。
		江川や塚田川の水質問題を解決したい。
東南	大平 ・ 内浦 ・ 静浦 ・ 西浦	生活面でも観光面でも道路ネットワークが不足していることがネックである。
		豊富な魅力ある資源を連携させていくためにも、道路網や海岸線の歩行環境を整備する必要がある。
		大平は道路が整備されることで、地域が活性化し利便性も向上するので土地利用を見直すべき。
		高齢化の影響で西浦みかんの生産量が低下している。また、内浦の鯛の商品価値も低下している。担い手を増やすためにも、防災や道路網など生活環境を改善し定住者を増やす必要がある。